

証券コード：6314

平成17年3月期 決算説明資料



株式会社 石井工作研究所
ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

<http://www.i-kkco.jp>



決算説明資料の構成

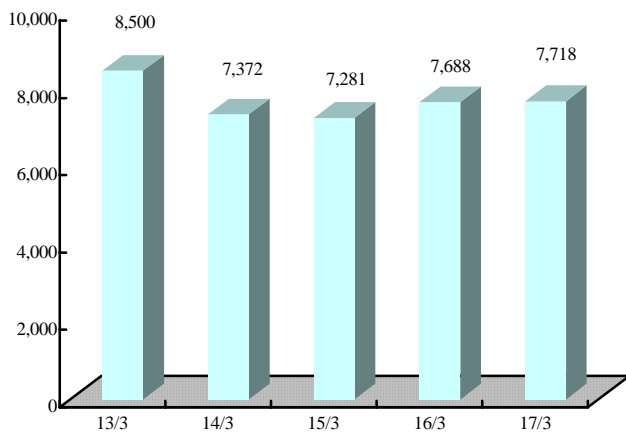
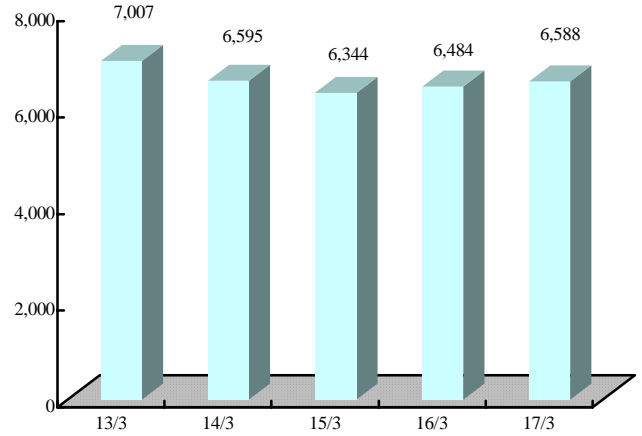
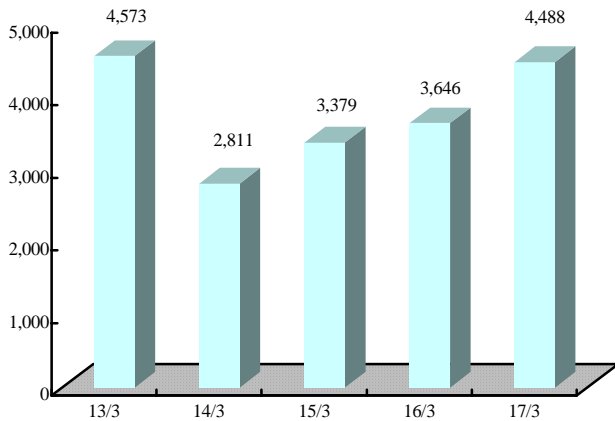
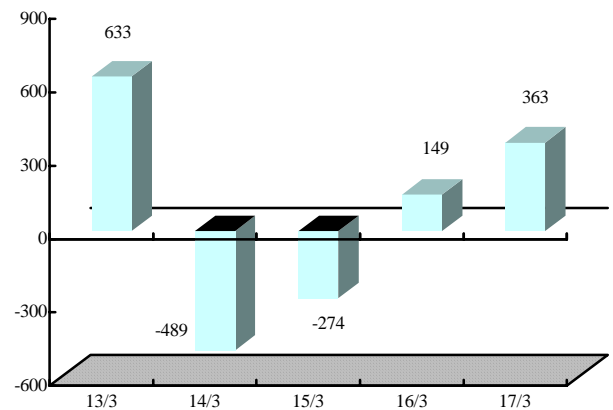
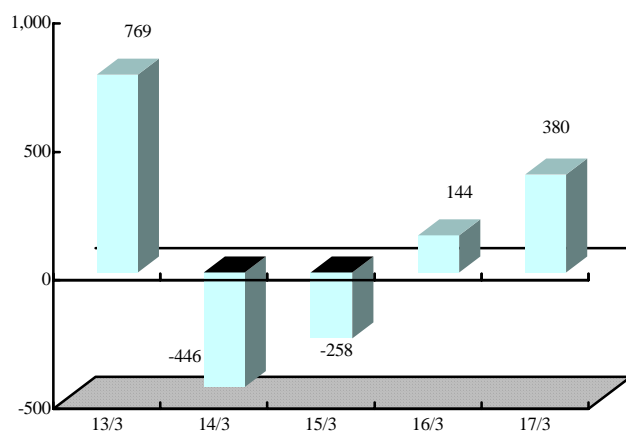
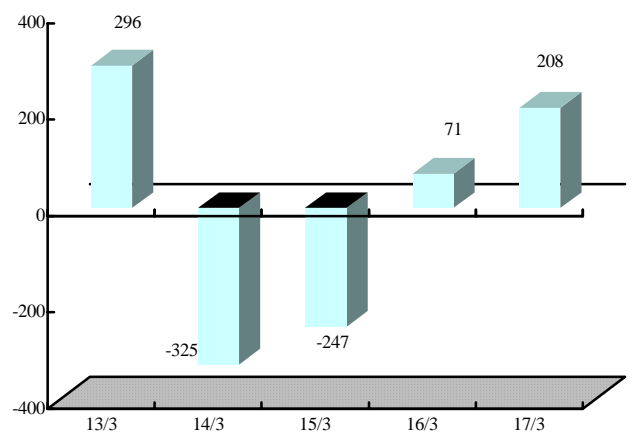
- 1 . 平成 1 7 年 3 月期決算概要
- 2 . 平成 1 8 年 3 月期通期業績予想
- 3 . 会社概要
- 4 . 技術・新製品開発



1. 平成17年3月期 決算概要

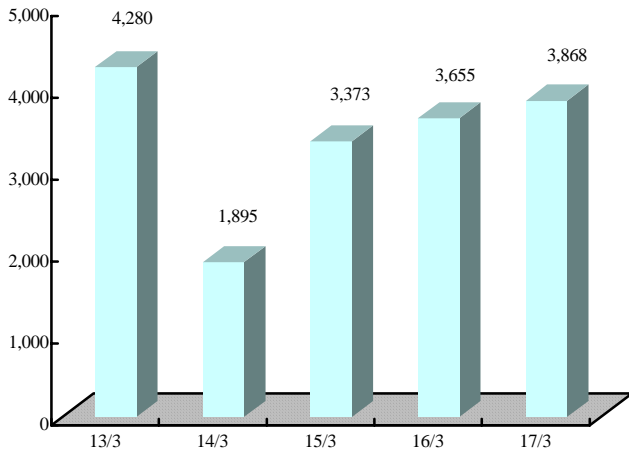
1. 最近5年間の業績の推移

回 次	第23期	第24期	第25期	第26期	第27期
決 算 年 月	平成13年3月	平成14年3月	平成15年3月	平成16年3月	平成17年3月
売 上 高 (千円)	4,573,001	2,811,889	3,379,450	3,646,601	4,488,850
売 上 総 利 益 (千円)	1,489,561	505,781	545,877	966,118	1,189,300
販 売 管 理 費 及 び 一 般 管 理 費 (千円)	855,916	995,321	820,748	816,808	825,754
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 () (千円)	633,645	489,540	274,870	149,310	363,545
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 () (千円)	769,986	446,731	258,696	144,452	380,315
当 期 純 利 益 又 は 当 期 純 損 失 () (千円)	296,139	325,412	247,279	71,417	208,951
資 本 金 (千円)	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300	1,186,300
発 行 済 株 式 総 数 (千株)	7,800	7,800	7,800	7,800	7,800
純 資 産 (千円)	7,007,318	6,595,307	6,344,562	6,484,378	6,588,181
総 資 産 (千円)	8,500,739	7,372,335	7,281,632	7,688,554	7,718,724
1株当たり純資産額 (円)	898.37	845.78	814.18	832.45	846.22
1株当たり配当額 (円)	10.00			10.00	12.00
1株当たり当期純利益 又は当期純損失 () (円)	37.97	41.72	31.72	9.17	26.83
自 己 資 本 比 率 (%)	82.4	89.5	87.1	84.3	85.4
自 己 資 本 利 益 率 (%)	4.3	4.8	3.8	1.1	3.2
株 価 収 益 率 (倍)	18.7			54.5	18.6
配 当 性 向 (%)	26.34			109.05	44.73
営業活動によるキャッシュフロー (千円)	96,603	670,695	212,756	174,136	649,406
投資活動によるキャッシュフロー (千円)	406,923	663,210	26,739	162,832	155,467
財務活動によるキャッシュフロー (千円)	77,580	78,065	2,524	98,179	179,277
現金及び現金同等物残高 (千円)	1,069,349	988,865	738,245	847,753	1,472,753
従 業 員 数 (名)	277	279	282	272	265

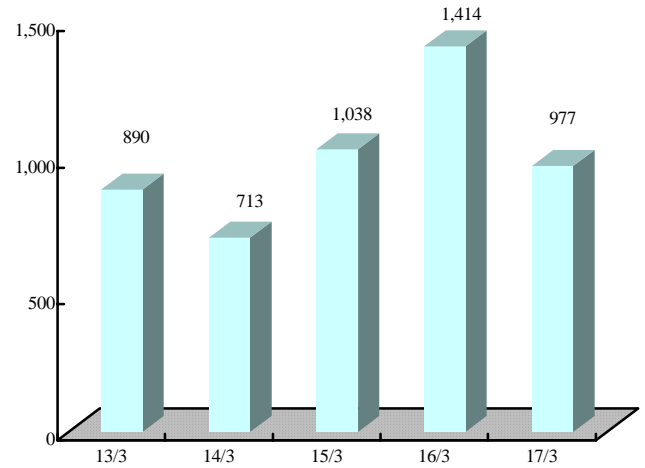
財務状態 Financial Condition
総資産 Total assets (百万円/¥Millions)

株主資本 Shareholders' equity (百万円/¥Millions)

業績推移 Operating results
売上高 Net sales (百万円/¥Millions)

営業利益 Operating income (百万円/¥Millions)

経常利益 Ordinary income (百万円/¥Millions)

当期純利益 Net income (百万円/¥Millions)




受注高 Order received (百万円/¥Millions)

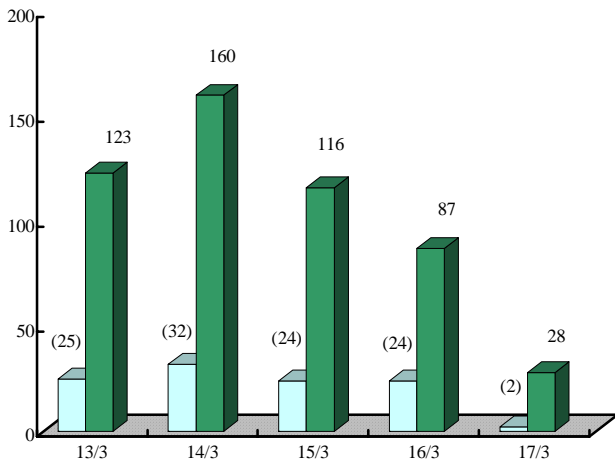


受注残高 Order backlog (百万円/¥Millions)



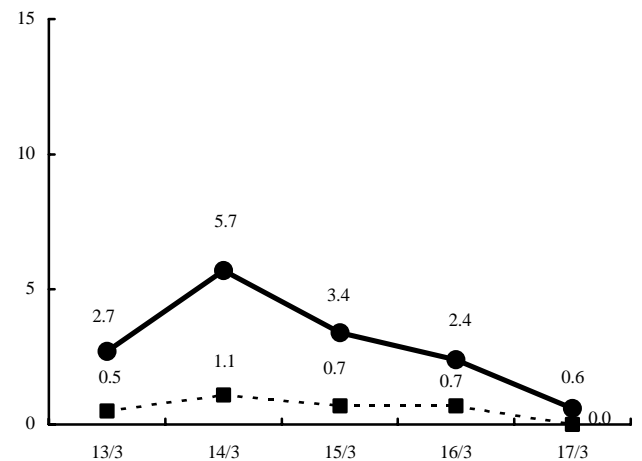
設備投資額・研究開発費等指標 Capital expenditures/Research and development expenses Data

研究開発費 Research and development expenses (百万円/¥Millions)



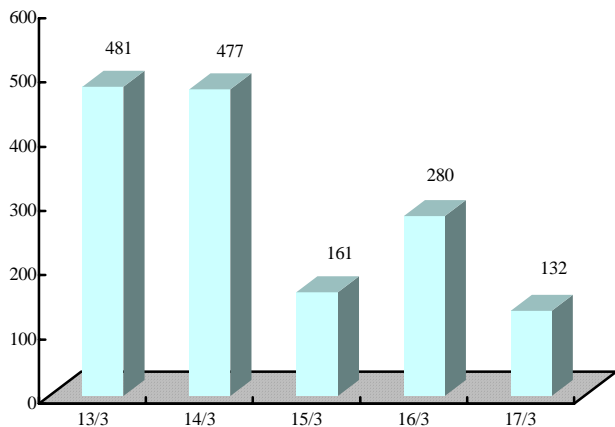
注 ()内数字は経費として計上したもの

研究開発費の対売上比率 Ratio of sales to research and development expenses (%)



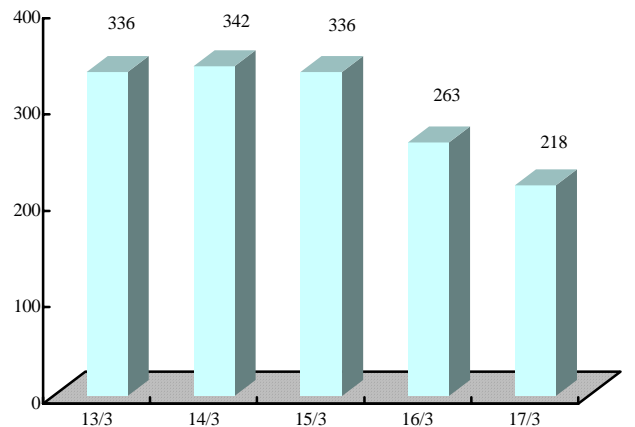
注 点線は経費として計上したものの比率

設備投資額 Capital expenditures (百万円/¥Millions)



注 リース取得価額相当額を含む

減価償却費 Depreciation (百万円/¥Millions)

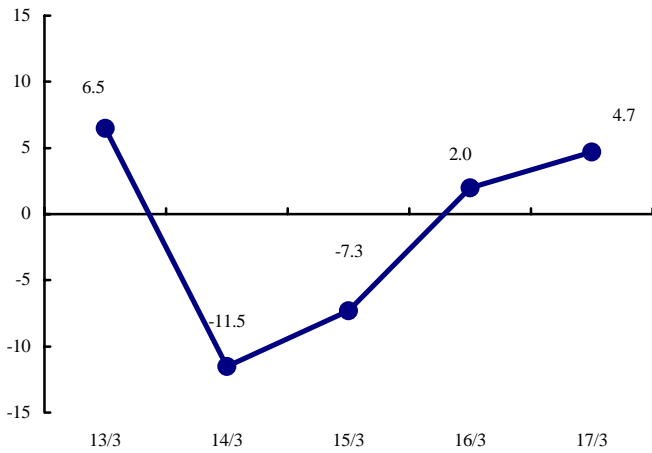


注 支払リース料における減価償却費相当額を含む

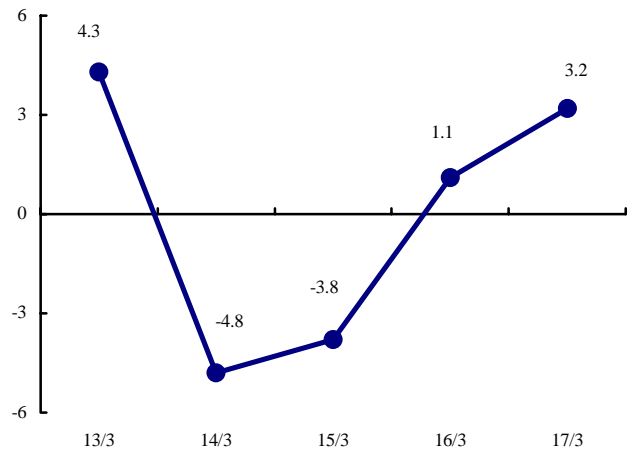


収益性指標 Profitability

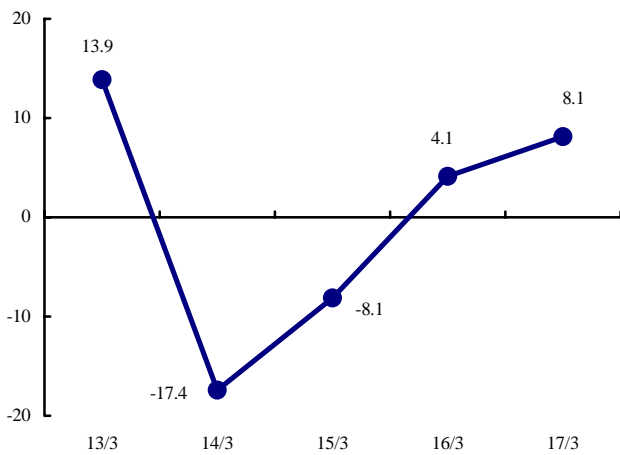
売上高純利益率 Net income to net sales (%)



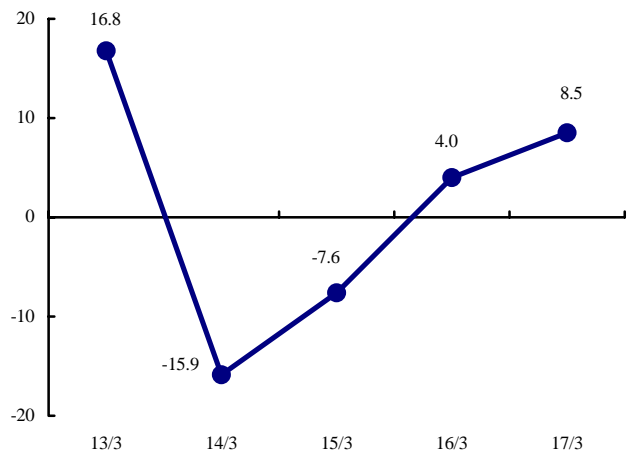
株主資本純利益率 Return on equity (%)



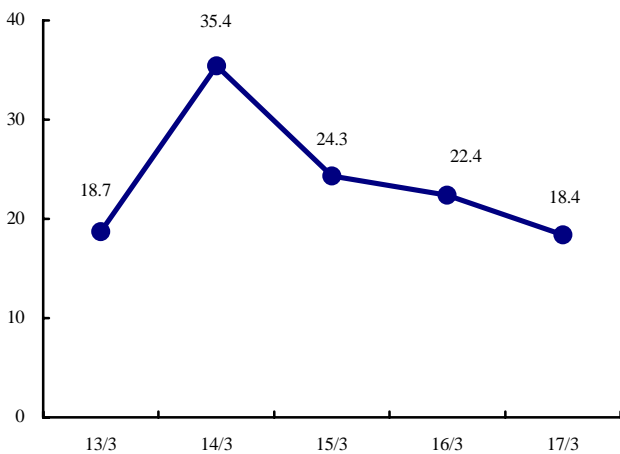
売上高営業利益率 Operating income to net sales (%)



売上高経常利益率 Ordinary income to net sales (%)



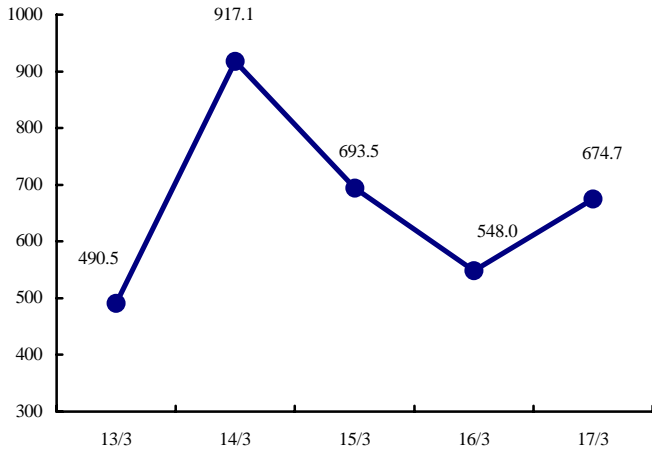
販管費の対売上比率 Ratio of sale to selling, general and administrative expenses (%)



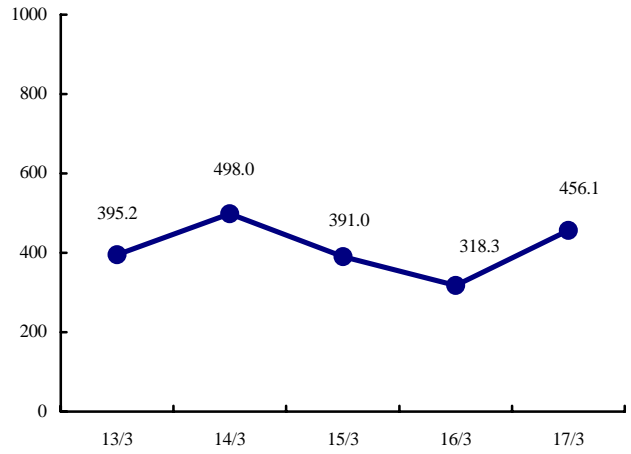


安定性指標 Financial stability

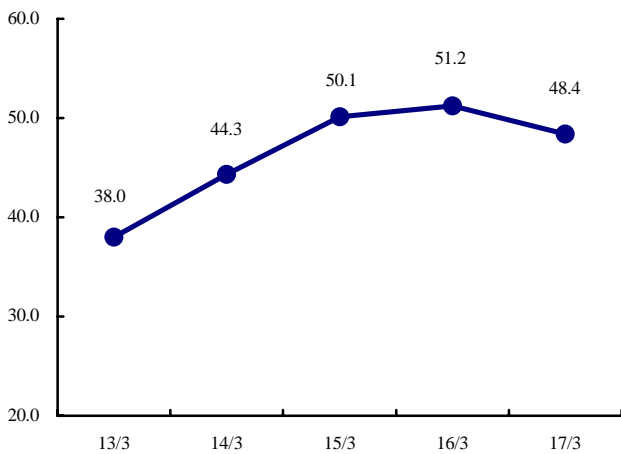
流動比率 Current ratio (%)



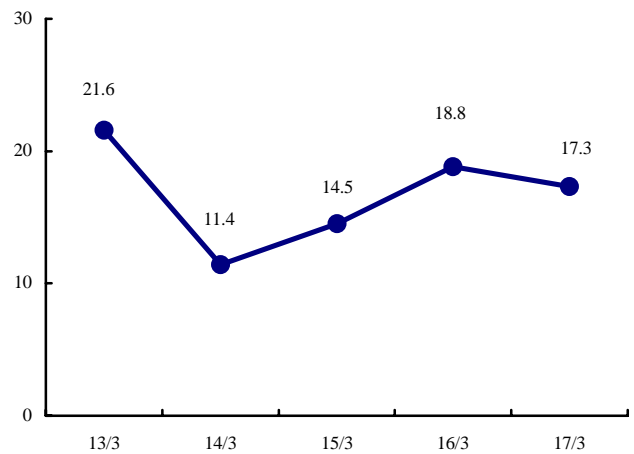
当座比率 Quick ratio (%)



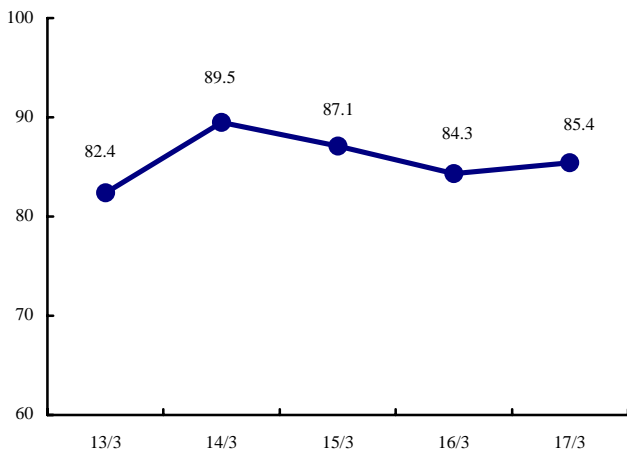
固定比率 Fixed assets ratio (%)



負債比率 Liabilities to shareholders' equity ratio (%)

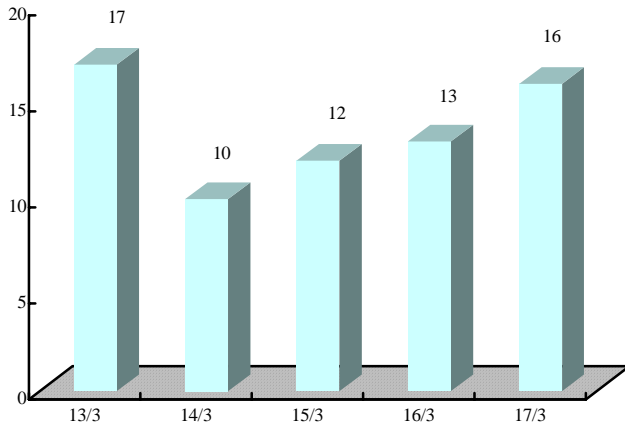


株主資本比率 Shareholders' equity to total assets (%)

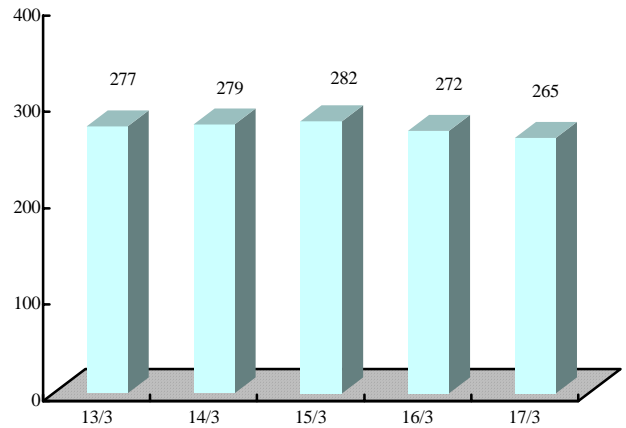


従業員 1 人当たり指標 Per employee Data

従業員 1 人当たり売上高 Net sales per employee (百万円/¥Millions)

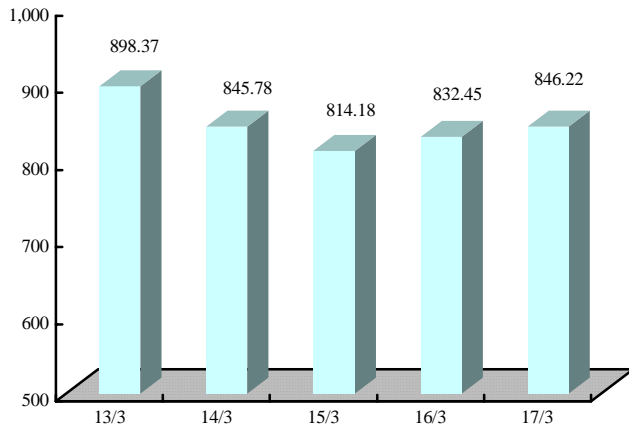


期末従業員数 Number of employees at fiscal year-end (人/persons)

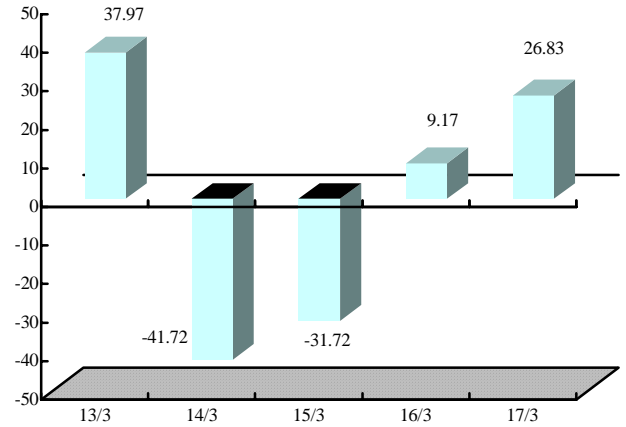


1 株当たり指標 Per share Data

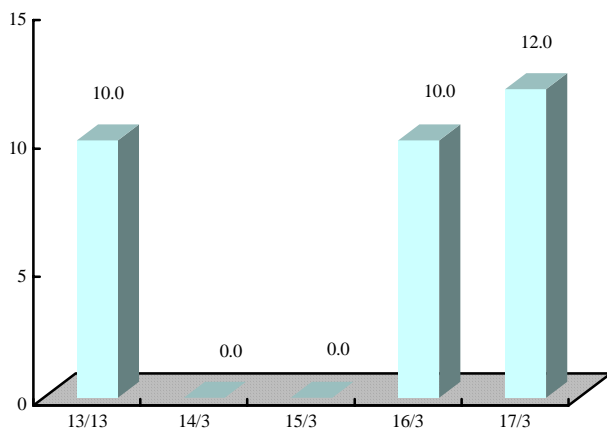
1 株当たり株主資本 Shareholders' equity per share (円/¥)



1 株当たり当期純利益 Net income per share (円/¥)



1 株当たり配当金 Dividends per share (円/¥)



2. 品目別販売実績

(単位：千円)

期 別 品 目		第 26 期 (自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 31 日)		第 27 期 (自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日)		対前期比増減 (は減少)	
		金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	同期比
半 導 体 関 連 事 業	半 導 体 関 連 製 造 装 置 及 び 金 型	3,002,634 (920,307)	82.3 % (30.7)	4,025,169 (1,146,127)	89.7 % (28.5)	1,022,535 (225,820)	134.1 % (124.5)
	加 工 部 品	110,544 (6,811)	3.0 (6.2)	106,343 (6,772)	2.4 (6.4)	4,201 (38)	96.2 (99.4)
	電 装 品	10,100 ()	0.3 ()	8,096 ()	0.2 ()	2,004 ()	80.2 ()
	そ の 他	104,406 (28,834)	2.9 (27.6)	78,499 (15,344)	1.7 (19.6)	25,906 (13,490)	75.2 (53.2)
不 動 産 事 業	マ ン シ ョ ン 及 び 住 宅	367,773	10.1	183,298	4.1	184,475	49.8
浄 水 事 業	浄 水 装 置	51,141	1.4	87,442	1.9	36,301	171.0
合 計		3,646,601 (955,953)	100.0 (26.2)	4,488,850 (1,168,244)	100.0 (26.0)	842,249 (212,291)	123.1 (122.2)

(注) 1. 金額には消費税は含まれておりません。

2. () 内の数字は内数で、輸出高及び輸出比率であります。

主要な輸出先別の割合

輸 出 地 域	第 26 期 (%)	第 27 期 (%)
アジア地域	95.8	94.9
(内 中 国)	(25.8)	(42.5)
(内 シンガポール)	(32.6)	(17.6)
(内 台 湾)	(16.9)	(17.0)
(内 マレーシア)	(16.3)	(10.7)
(内 その他アジア)	(4.2)	(7.1)
北米地域	0.2	0.0
欧州地域	4.0	5.1
計	100.0	100.0

3. 品目別受注状況

(単位：千円)

期 別 品 目		第 26 期 (自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 31 日)		第 27 期 (自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 3 月 31 日)		対前期比増減 (は減少)	
		受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高	受 注 高	受注残高
半 導 体 関 連 事 業	半 導 体 関 連 製 造 装 置 及 び 金 型	3,381,139 (1,064,135)	1,377,767 (485,166)	3,555,662 (917,937)	908,259 (256,976)	174,522 (146,197)	469,507 (228,189)
	加 工 部 品	112,310 (7,950)	9,921 (1,139)	108,298 (7,402)	11,877 (1,769)	4,011 (547)	1,955 (630)
	電 装 品	9,506 ()	()	8,096 ()	()	1,410 ()	()
	そ の 他	99,182 (28,303)	19,315 (5,745)	92,819 (17,165)	33,635 (7,566)	6,362 (11,137)	14,319 (1,821)
浄水事業	浄 水 装 置	53,075	7,454	104,066	24,077	50,990	16,623
合 計		3,655,214 (1,100,389)	1,414,458 (492,050)	3,868,942 (942,506)	977,849 (266,311)	213,728 (157,883)	436,608 (225,738)

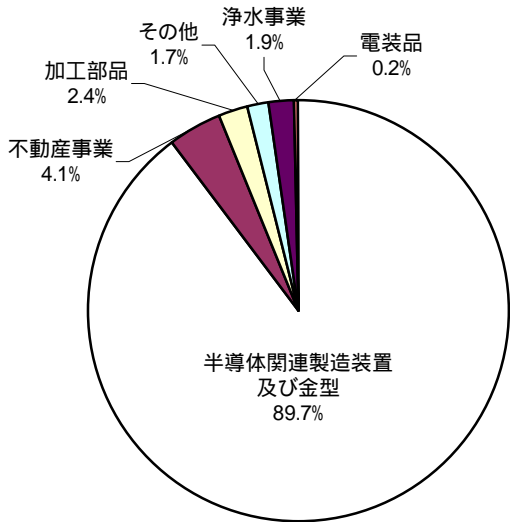
(注) 1. 金額には消費税は含まれておりません。

2. ()内の数字は内数で輸出受注高であり、総受注高に対する輸出受注高の割合は、当期 24.4%、前期 30.1%であります。

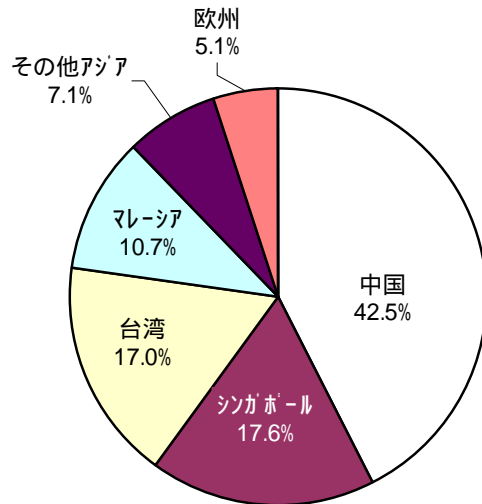


売上高及び受注高構成（17年3月期）

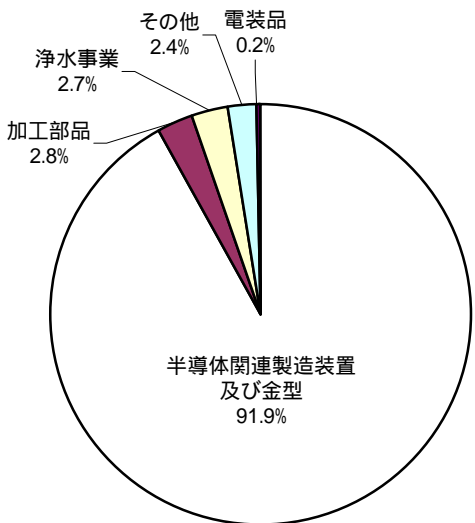
品目別売上高



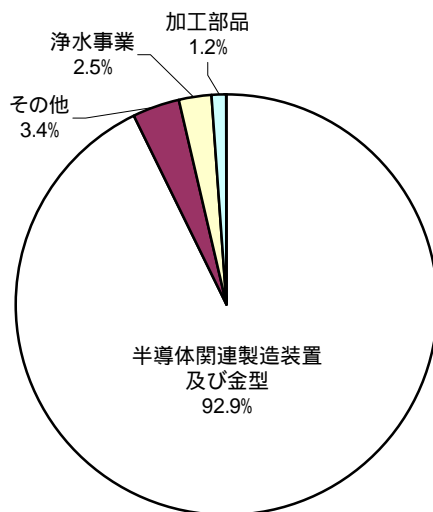
輸出地域別売上高



受注高



受注高残高





2. 平成18年3月期通期業績予想

第28期（平成18年3月期）の利益計画
a. 利益計画表

（単位：千円）

項 目	期 別		第27期 (17年3月期)		第28期予想 (18年3月期)		増 減
売 上 高			4,488,850	100.0	4,000,000	100.0	488,850
売 上 原 価			3,299,549	73.5	3,030,734	75.8	268,815
売 上 総 利 益			1,189,300	26.5	969,266	24.2	220,034
販売管理費及び一般管理費			825,754	18.4	739,266	18.5	86,488
営 業 利 益			363,545	8.1	230,000	5.8	133,545
営 業 外 収 益			16,769	0.4	10,000	0.3	6,769
営 業 外 費 用							
経 常 利 益			380,315	8.5	240,000	6.0	140,315
特 別 利 益			38,554	0.9			38,554
特 別 損 失			44,020	1.0	30,000	0.8	14,020
税引前当期純利益			374,849	8.4	210,000	5.3	164,849
法人税及び住民税			35,711	0.8	100,000	2.5	64,289
法人税等調整額			130,186	2.9			130,186
当 期 純 利 益			208,951	4.7	110,000	2.8	98,951

b. 売上高の品目別内訳

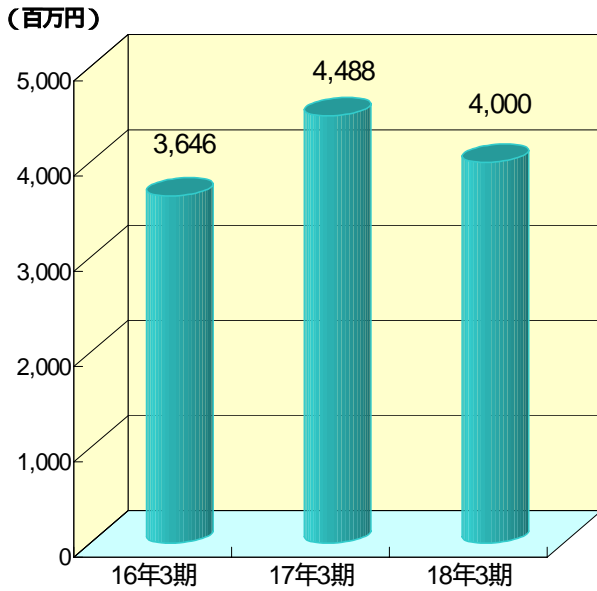
（単位：千円）

項 目	期 別		第27期 (17年3月期)		第28期予想 (18年3月期)		増 減
半 導 体 関 連 事 業	半 導 体 関 連 製 造 装 置 及 び 金 型		4,025,169	89.7	3,354,000	83.9	671,169
	加 工 部 品		106,343	2.4	68,000	1.7	38,343
	電 装 品		8,096	0.2	8,000	0.2	96
	そ の 他		78,499	1.7	70,000	1.7	8,499
住 宅 事 業	マ ン シ ョ ン 及 び 住 宅		183,298	4.1	455,000	11.4	271,702
浄 水 事 業	浄 水 装 置		87,442	1.9	45,000	1.1	42,442
合 計			4,488,850	100.0	4,000,000	100.0	488,850

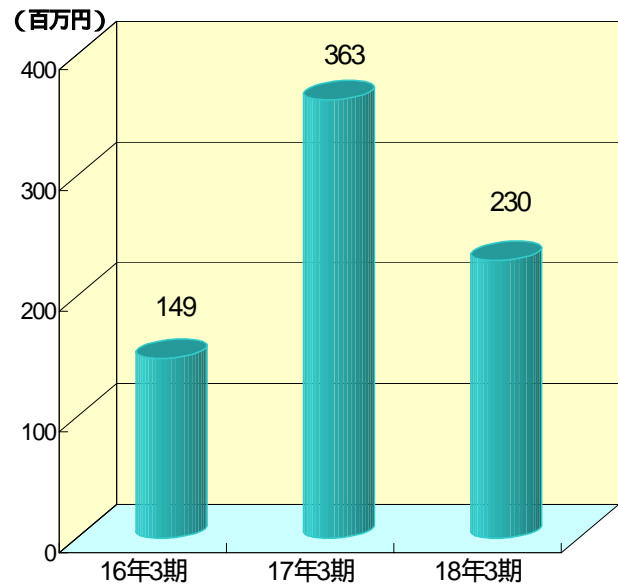
（注）本資料に掲載されている業績予想、見通し、事業戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

18年3月期の目標

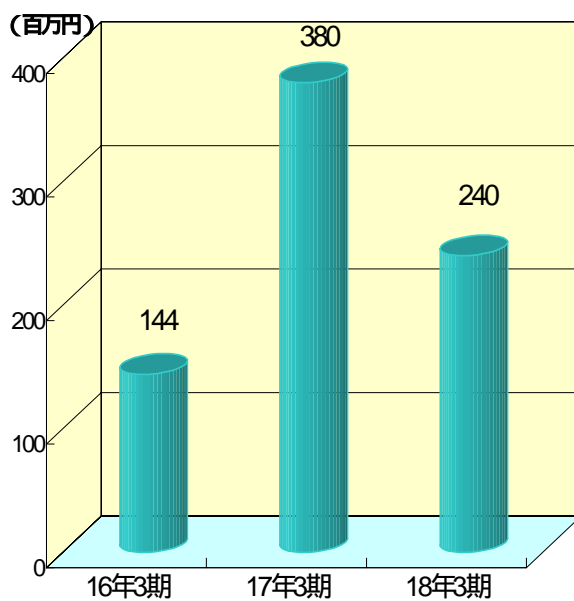
売上高



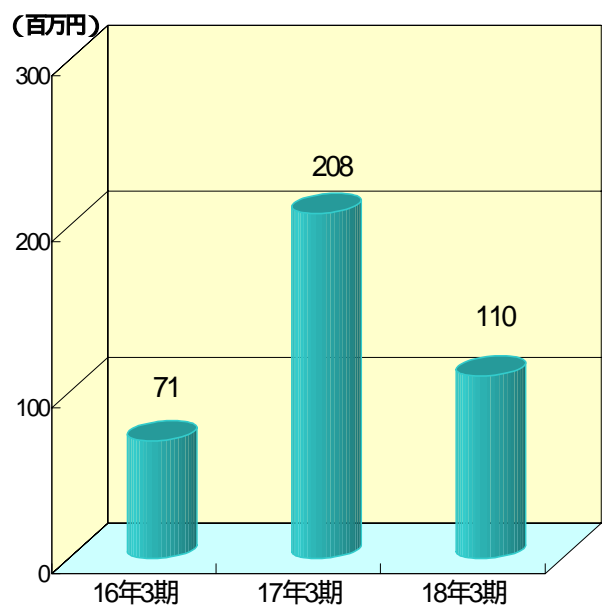
営業利益



経常利益



純利益





3. 会社概要

1 . 当社の経営基本方針

当社は、「たゆまず前進する技術と創意工夫によって社会に貢献する」ことを経営理念としております。そして、「正しい見識を持って意欲的に即行動し新しい価値を生む」ことを行動理念とし、「ユーザーに深く感謝する精神で早く良いものを安くに徹する」ことを経営方針として業務に取り組んでおります。

当社は、半導体製造後工程装置やその精密金型の開発、設計、製造および販売を主事業としており、低騒音、省エネルギー、省スペース(小型化)をコンセプトとして切断・成形、マーキング、製品検査等を対象領域とする機器を提供しております。

また、当社は主事業である半導体関連事業に加えて、新規事業として個人住宅の建築販売及びホームエレベータ・太陽光発電装置の製造販売を行なう住宅事業及び浄水装置の製造販売を行なう浄水事業を開始しており、将来この3事業を当社事業の3本柱とする方針であります。

2. 会社の概要

商 号 株式会社 石井工作研究所
 (英訳名 ISHII TOOL & ENGINEERING CORPORATION.)
 本 店 大分県大分市東大道2丁目1番3号
 設立年月日 昭和54年(1979年)1月5日
 事業内容

部 門	区 分	主 要 営 業 品 目
半 導 体 関 連 事 業	半 導 体 関 連 製 造 装 置 及 び 金 型	リード加工機 (BGA・CSP個片カット装置を含む) リード加工金型
	加 工 部 品	プラスチック成型加工品 プレス加工品
	電 装 品	マイクロコンピューター 電装装置
	そ の 他	購入品 補修サービス
不 動 産 事 業	マ ン シ ョ ン 及 び 住 宅	個人住宅・住宅用ホームエレベータ 太陽光発電装置
浄 水 事 業	浄 水 装 置	活水装置、海域・水域浄化装置 養殖場浄化装置

資 本 金 1,186,300,000 円 (平成17年5月20日現在)
 株式の状況 会社が発行する株式の総数 30,000,000株
 発行済株式総数 7,800,000株 (平成17年5月20日現在)
 1単元の株式数 100株

決 算 期 3月31日(年1回)
 役 員 代表取締役社長 石 井 見 敏
 取締役 石 井 仁 海
 取締役 石 井 貞 憲
 取締役 辻 野 治 弘
 監査役(常勤) 衛 藤 良 一
 監査役 後 藤 末 弘
 監査役 姫 野 昭 雄

従 業 員 数 265名(平成17年3月31日現在)
 (従業員には、臨時従業員(準社員)20名を含んでおりません。)

主要取引銀行 株式会社 大 分 銀 行 本 店
 株式会社 三井住友銀行 大分支店
 中央三井信託銀行株式会社 大分支店
 三菱信託銀行 株式会社 福 岡 支 店

大 株 主

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況		当社の当該株主への出資状況	
	持 株 数	比 率	持 株 数	比 率
有限会社テクトロン	千株 1,660	% 21.2	千株 -	% -
石 井 見 敏	1,170	15.0	-	-
石井工作研究所 従業員持株会	634	8.1	-	-
T O W A 株 式 会 社	300	3.8	60	0.28
石 井 貞 憲	135	1.7	-	-
石 井 仁 海	126	1.6	-	-
株式会社大分銀行	124	1.6	50	0.03
石 井 光 明	114	1.4	-	-
松 浦 兼 昭	81	1.0	-	-
松井証券株式会社 (一般信用口)	77	0.9	-	-

(平成17年3月31日現在)

3 . 会社の沿革

年 月	概 要
昭和54年 1月	㈱石井工作研究所設立（資本金 10,000 千円）。前身である個人企業石井工作研究所より人員その他すべてを引継ぎ、精密金型、半導体関連製造装置の開発、設計、製造、販売を主業務とした事業開始。本社及び本社工場（現大分工場）を大分県大分市東大道二丁目1番3号に置く。
昭和54年 6月	金属及び非金属材料販売を行うため丸善通商㈱設立。
昭和55年10月	数値制御による機械加工を集約するため㈱大分エヌシ - センタ - （現大分羽田工場）設立。
昭和56年 4月	熊本及び福岡での販売を強化するため熊本県熊本市に熊本営業所開設。
昭和56年10月	当社及び関連会社の不動産管理のため大分県大分市に(有)石井工研産業設立（後、株式会社へ組織変更）。
昭和58年12月	丸善通商㈱を㈱九栄システム（現北九州工場）に商号変更するとともに本社を北九州市門司区に移転。
昭和59年 1月	業容の拡大と合成樹脂製品製造、販売のため、大分県テクノポリス地域の指定を受けた大分県杵築市に杵築工場開設。
昭和60年 2月	関西及び関東以北での販売を強化するため、大阪事務所を大阪市北区に東京事務所を東京都新宿区に開設。
昭和61年 3月	半導体組立工程の5工程（リ - ドフレ - ムからの切り離し 足の折り曲げ 性能テスト 製品名などの印刷 分類）を一貫処理できる半導体自動組立装置「PTMD 300」を（財）大分県高度技術開発研究所をはじめ、大分工業高等専門学校や大分大学と共同開発。
昭和61年 8月	半導体製造用の低騒音、超小型NCモ - タ - プレスの「ソフトプレス」開発。
昭和61年11月	日本国内での販売を強化し、新製品販売促進のため東京晴海での半導体製造装置展示会“セミコン・ジャパン 86”に初めて出展。
平成 3年10月	経営の合理化と経営効率を図るため、㈱大分エヌシ - センタ - 、㈱九栄システム及び㈱石井工研産業を吸収合併。
平成 3年11月	中小企業フロンティア賞受賞（大分県主催）。
平成 4年 3月	当社の「ソフトプレス」を使った半導体の後工程一貫製造装置が、「第4回中小企業優秀新技術・新製品賞」（協和(現りそな)中小企業振興財団・日刊工業新聞共催）を受賞。
平成 5年 7月	アメリカでの世界最大の半導体製造装置展示会“セミコン・ウエスト 93”に初めて出展。
平成 5年 9月	本社ビル完成。
平成 7年 4月	大阪事務所及び東京事務所を各々営業所に名称変更。
平成 8年 8月	当社株式を日本証券業協会の店頭売買有価証券として登録。
平成 9年 2月	ISO9001 並びにCEマ - キング認証取得。
平成12年 8月	ISO14001 認証取得。
平成13年 6月	北九州工場を北九州市小倉北区に移転
平成13年 8月	不動産事業を開始
平成14年 1月	浄水事業を開始
平成15年11月	大分曲工場第一期工事完了
平成16年12月	日本証券業協会への店頭登録を取消し、ジャスダック証券取引所に株式を上場。

4 . 営業所及び工場

本 社 大分県大分市東大道 2 丁目 1 番 3 号

営 業 所

東京営業所 東京都新宿区

大阪営業所 大阪府大阪市

熊本営業所 熊本県熊本市

工 場

大分工場 大分県大分市

杵築工場 大分県杵築市

大分羽田工場 大分県大分市

大分曲工場 大分県大分市

北九州工場 福岡県北九州市



4. 技術・新製品開発

トリミング装置/フォーミング装置

SP-5142-NL/SP-5362-NL

- ・コンパクトなボディに高性能 IKK ソフトプレスを搭載した、コストパフォーマンスに優れた、マガジン to マガジン構成のトリミング装置/マガジン to トレイ構成のフォーミング装置です。
- ・搬送機構等、シンプルな構成を採用し、ジャム発生率が非常に希少です。
- ・トリミング装置の加工速度は 200SPM です。
- ・フォーミング装置の製品加工速度は 100SPM です。



SP-5142-NL



SP-5362-NL

レーザーマーク/フォーミング一貫装置

SP-1362-LL

- ・コンパクトなボディに高性能 IKK ソフトプレスを搭載した、コストパフォーマンスに優れたレーザーマーク・フォーミングプレスの一貫装置です。
- ・レーザー発信機をご希望の品を搭載可能。
- ・ローダの製品供給、アンローダトレイの交換はオペレータによるマニュアル方式です。



SP-1362-LL

IKK レーザマーク装置

IN-TRY LASER MARK SYSTEM SL-1700

- ・この装置は、トレイに収納された IC をトレイごと搬送し、レーザーマーキングを行います。
- ・トレイへの IC の未充填や、マーク品質などの画像検査もオプションとして用意しています。



SL-1700

IKK 小型レーザーマーク装置

COMPACT LASER MARK SYSTEM SL-11E2

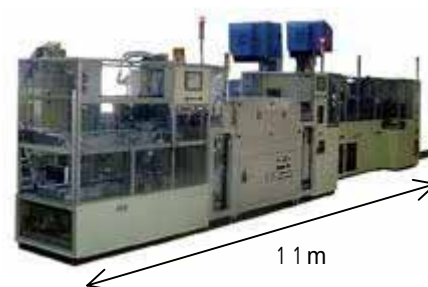
- ・この装置は、マガジンに収納されたフレームを一枚ずつ搬送し、レーザーマーキングを行い、マガジンに収納します。
- ・ご希望のレーザー発振器を搭載することが出来ます。
- ・フットプリント 70 × 130cm (レーザー発振器含む) の省スペース&低価格を実現



SL-11E2

大型装置（従来装置に比べて大型）

大分曲工場完成に伴い、半導体分野以外の液晶用組立装置や車載用部品組立装置の製作を開始しました。



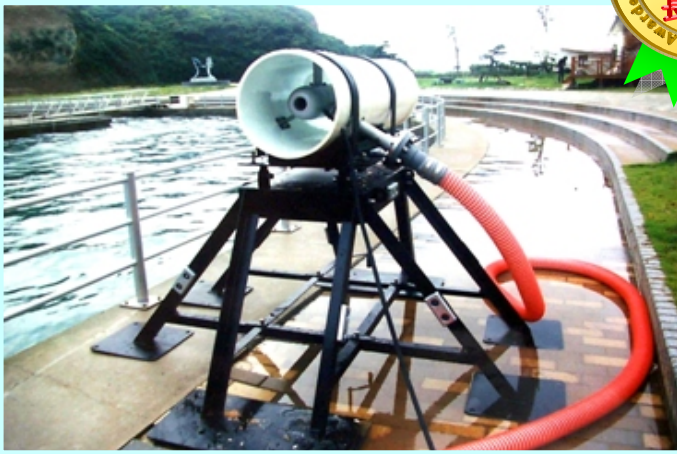
車載用部品組立装置

水質浄化装置

新規事業

JET STREAMER ジェット・ストリーマー

AOKO KILLER アオコキラー



根底からの改善!

流動+オゾン+微細気泡による相乗効果!

水域を流動させ酸素濃度を高め水を蘇えらせる!

アオコを撃退!

超音波照射とオゾンのWパワーでアオコ消滅!

設置実績表

山口県	はなびらの池	長崎県	野母崎ゴルフ場	茨城県	千波湖	福井県	三方五湖
長崎県	黒浜ダム	栃木県	八州カントリークラブ	鹿児島県	西京ダム	新潟県	加茂湖
佐賀県	長浜ダム	沖縄県	座間味村タンク	東京都	呑川	韓国	処理場
愛知県	長良川	長崎県	郷戸池	北海道	(株)サッポロビール	埼玉県	権現堂調整池
群馬県	桐生競艇場	福岡県	海の中道海浜公園	台湾	剣湖	大分県	田ノ浦ビーチ

太陽光発電

電力消費量の多い施設などで、社会貢献の一環としても、クリーンなソーラーエネルギーの導入が期待されています。



公共施設



学校

様々な場所で活躍するソーラー発電!



民間施設



一般住宅 (大分市内)

IKKのソフトエレベーター

半導体製造装置の設計開発技術を投入だから高性能&低価格!

空間のあるライフスタイル 家族の幸せ運びます

えっ! 屋根裏(物置)に上れるの~!!

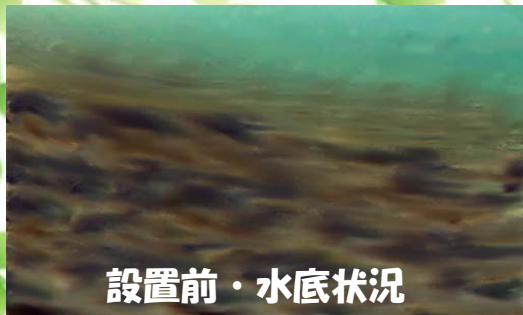
電気代は1日8円程度

ネジ式駆動で安心・安全

省スペースで取り付け簡単



某海水浴場での水質浄化装置設置例



設置前・水底状況



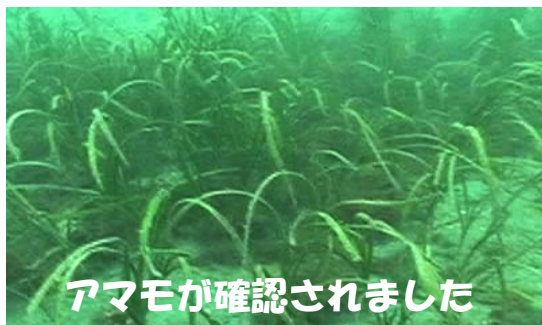
細かい泡を発生させ酸素を長い時間海水に触れさせることで安定した酸素供給を実現しました。

浄化装置作動状況



設置前、水底はへ泥で覆われ水質状態も悪く水生生物も確認されませんでした。

安全性を図る為、人工的に整備された海水浴場などが増えています。その反面、閉鎖的になりやすく海水は停滞し※富栄養化しやすくなるのです。水域内に流動を起こし酸素を供給しオゾンにより殺菌することで、自浄作用を促し安心して遊泳できる環境に善していきます。



アマモが確認されました



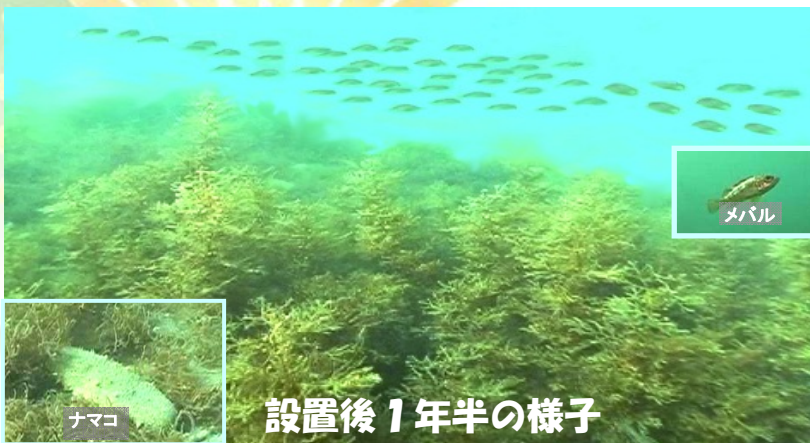
設置前の様子



吐出状況



アマモは浅瀬で水質が良い場所を好み、小魚などの産卵場になる重要な役目をしています。



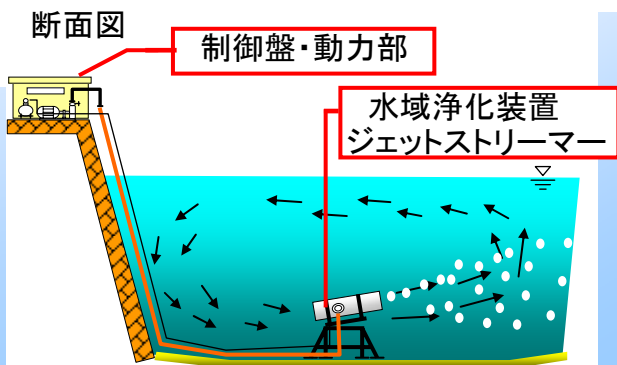
設置後1年半の様子



ナマコ



メバル

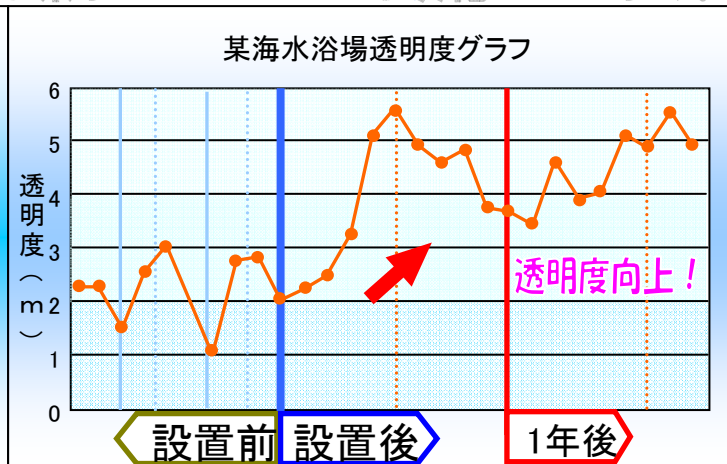
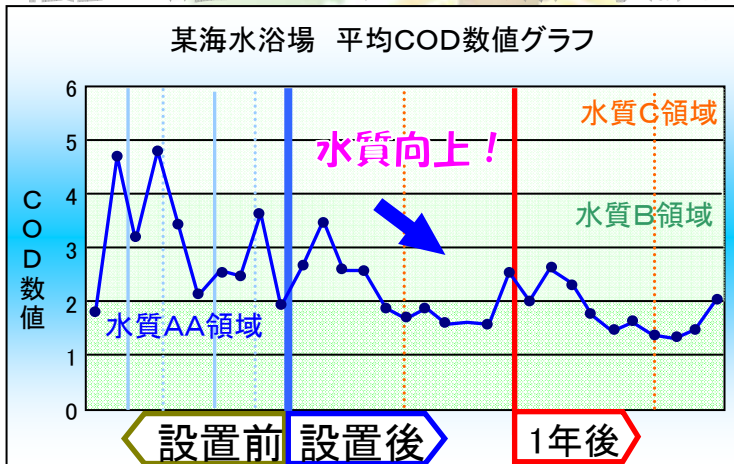


制御盤・動力部

水域浄化装置
ジェットストリーマー

※富栄養化とは、海の中の栄養分が偏る事により、生態系が一時的に崩れ、それによって海の生物に影響を与える事を言います。赤潮、青潮はその例です。

低層は改善されホンダワラ類や小魚など集まるオアシスへと変化しています。



本資料に関するお問い合わせ



株式会社 石井工作研究所
ISHII TOOL & ENGINEERING CORP.

I R 担当者

TEL : 097 - 544 - 1001

E-mail : tujino@i-kk.co.jp

: tokieda@i-kk.co.jp

